

令和7年度 第1回社会教育委員会議 会議録

日 時		令和7年7月29日(火) 10時から
場 所		河合町立公民館 3階 研修室B
出席者	委 員	【出 席】 10／15名 【委任状】 5／15名
	教育長 事務局	【出 席】 8名
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 教育長あいさつ 3. 議事（進行は音田議長） <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度 社会教育事業実施報告について (2) その他 4. その他事務連絡 5. 閉会
会議録 (要旨) (敬称略)	<p>○開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から開会あいさつ <p>○教育長あいさつ</p> <p>○議事（進行は議長）</p> <p>(1) 令和6年度 社会教育事業実施報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局：『資料に沿って説明 1頁～10頁』 <p>(1) 令和6年度 社会教育事業実施報告</p> <p>○町民大学について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委 員：町民大学パンフレット印刷代について、令和5年度と比較して令和6年度の決算額が少なくなっている理由を教えてください。 ・事務局：令和7年6月開講分のページ数が少ないので、印刷料金が安くなっています。 <p>○ふるさと河合絵画コンクールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委 員：予算の用途は何ですか。 ・事務局：賞状と副賞の図書カードの費用です。 ・委 員：図書カードは何名分で、1人何円分ですか。 ・事務局：町長賞と教育長賞は合計7人でそれぞれ1人1,000円分、佳作は8人で1人500円分です。 <p>○子ども110番の家旗及びステッカーの設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委 員：立哨の方の着用ユニフォームの予算はどこからでていますか。予算があ 	

まれば使ってもいいのではないでしょうか。

- ・事務局：各自治会の防犯部のユニフォームを着ていただいています。
- ・事務局：立哨ユニフォームは、交通安全対策協議会（危機管理課内）で今回新たに補充しました。教育振興部局と危機管理課（町長部局）は予算が分かれており、危機管理課の予算で物品を用意します。
- ・事務局：帽子やベストについては、自治会で購入されたり、総代・自治会長会担当の政策調整課が購入しています。
- ・委 員：古くなった立哨旗の取り替えはどのようにしていますか。自分で用意している方もいるのではないかでしょうか。
- ・事務局：危機管理課が管理しており、古くなった旗は隨時取り替えています。警察の交通安全協会とも連携しています。
- ・委 員：子ども 110 番の旗及び店舗向けステッカーは、犯罪の抑止力になるとと思うので予算を増やしてほしいです。
- ・事務局：店舗向けステッカーの配布は今まで主に二小校区で実施していましたが、令和 6 年度から一小校区でも小売店にお願いに回り、協力店舗が増えてきています。今後も引き続き事業を継続したいと考えています。また、犯罪に関しては危機管理課が担当ですが、犯罪が発生したら奈良県警の「ナポ君メール」や各学校の一斉配信メールで情報を発信しています。
- ・委 員：店舗にステッカー貼付のお願いをする際に、抑止力の効果を示したほうが協力してもらえるのではないかと思います。
- ・事務局：店舗向けステッカーは来月の広報でも周知します。店舗にも引き続き協力のお願いをしていきたいと思います。

○子ども向け短期単発講座のぶどう狩りについて

- ・委 員：今後も続けてほしい企画ですが、なぜぶどう狩りをすることになったのですか。令和 7 年度の事業計画に記載がないのはなぜですか。
- ・事務局：以前は、こども園と学童保育の児童を対象として夏休みにぶどう収穫体験を実施していました。しかし、コロナ禍により実施できない時期があり、さらに近年の夏は高温の日が続くことから実施していません。その後も、ボランティアの方に管理していただいているので、青少年健全育成事業の一環として昨年度から試験的に単発講座で実施しました。令和 7 年度に関しては、ぶどうの生育具合やアライグマの被害の有無等も注視しながら準備を進めたことから広く周知することが難しく、親と子の体験教室の参加者を対象に実施することとしました。

○西大和学園の生徒による河合町活性化について

- ・委 員：西大和学園の学生が中山田池公園で町の活性化に取り組んでいますが、どのように関わっていますか。
- ・事務局：西大和学園の生徒と町が連携して事業を進めていますが、生徒たち自ら企画・運営していくことで社会に出たときに役立つ知識を身に付けることを目的としています。また、西大和学園には中山田池公園の桜のライ

トアップ、砂かけ祭での行灯制作と大字市場の旧商店街での展示などに関わっていただいている。予算は、政策調整課と観光振興課が計上しています。

○人権教育研究会の町補助金について

- ・委員：予算が残っているので各学校で行う人権教育講演会等の講師の謝金に充てることは可能ですか。
- ・事務局：令和6年度は、日程等が合わず全国大会に参加できなかつたので予算に残金が生じたと人権教育研究会の事務局から伺っています。研修会の講師謝金としての活用は、補助金の交付要綱からも適切な用途のため問題ありません。令和7年度も予算を有効に使っていただけたらと思います。
- ・委員：講演会の対象は教師だけですか、子どもたちを対象とした事業も可能ですか。参加者の条件はありますか。
- ・事務局：参加者は教職員メインですが、最終的には児童や生徒への還元が目的のため、児童生徒の参加に問題ないと考えます。
- ・委員：最近、ごく一部の先生の問題行為（盗撮など）がニュースで取り上げられています。今年度は全国大会が兵庫県・大阪府開催で参加のための費用も抑えられると思いますので、予算に余裕があれば教職員に対する信頼回復や学びのために、講師を招いて講演会をしていただきたいと思います。
- ・委員：補助金は生涯学習課を通して交付されていますが、人権教育研究会は先生方が会員の独立した組織であり運営も委ねられているので、予算の使い道についてはその中に提案したほうがいいのではないでしょうか。

○かわい寺子屋教室について

- ・委員：令和7年度の寺子屋教室が定員不足で中止になりましたが、定員不足になった理由は何か考えられますか。
- ・事務局：かわい寺子屋教室の当初の応募は5名で、学校を通じて再募集もしましたが応募がありませんでした。すさみ町での活動内容のマンネリ化や物価上昇に伴う参加費の高額化が一因と考えられます。
- ・委員：すさみ町のマンネリもあるかと思いますが、過去に海が荒れて入れないなどの問題があったので、自然体験活動は難しいと感じています。また、経済格差によって子どもの経験の格差も広がっています。公的な体験ができる場なので、誰でも参加できるように内容を精査してもらえたと 思います。
- ・委員：バス代や宿泊費が掛かるので高額にはなりますが、みんなが平等に参加できるような内容を精査して考えてもらえたと 思います。

○識字学級について

- ・委員：今年度の状況を教えてください。
- ・事務局：現状、生徒は0名です。以前から講師や参加生徒であった2名の方が高齢であるため毎週参加することが難しい状況でした。昨年には、生徒から辞めたいとの申し出がありました。人や社会との繋がりがなくなっ

てしまうのでことを説得しながら続けていました。そして、今年度に入つて本人の意向を尊重し休講としています。今後、再開したいとの意向や他の方からの相談があった場合には再開できるように、講師には確認をしています。

○家庭教育講演会について

- ・委 員：令和7年度の内容と参加人数を教えてください。
- ・事務局：各校のPTAが企画し、PTA連合会が講師謝金を補助するかたちで実施しています。各校から提出された実施計画書の内容をもとに説明させていただきます。

・第一小学校

演題「あらためて、いのちをはぐくむ」

講師 奈良県教育委員会スクールカウンセラー

内容 子どもとともにどう人生を歩んでいくのか
自分について、人生について

参加予定人数 50名

・第二小学校

演題「自己肯定感をはぐくむ子育て」

内容 自己肯定感をはぐくむ接し方と自己肯定感を壊さない接し方、自己肯定感といじめの関係や人一倍敏感な子について

参加予定人数 50名

・第一中学校

演題「将来の夢について」

内容 講演を受けることで、自身の進路についての考えを深める

参加予定人数 200名

・第二中学校

演題「いのちの講座」

講師 奈良県助産師会

内容 体の変化や第二次性徴、思春期に多い悩み、命の誕生、大切さ、相談先の案内など

参加予定人数 100名

- ・事務局：参加人数の実績は、今後報告いたします。

- ・委 員：第二中学校の参加予定人数100名の内訳は、2年生を対象としているので現3年生約70名と保護者の数です。

- ・事務局：《資料に沿って説明 11頁～16頁》

○スポーツ教室について

- ・委 員：馬見丘陵公園に行くと高齢の方が大勢歩いておられます。子どもが対象の教室だけでなく、高齢者が対象の体にいい歩き方や走り方を勉強できる講座の実施も希望します。

- ・事務局：子どもだけでなく、大人や高齢者向けのウォーキング教室等、今後講師を招いて行っていきたいと思います。
- ・委 員：子どもランニング教室というのは子ども駅伝の練習をしているのですか。「人材の調査を行った」とありますがどういう意味か教えてください。
- ・事務局：子どもランニング教室は、走り方やランニングの楽しさを学ぶ教室であり、子ども駅伝のための練習ではありません。参加者の中に走るのが好きだという方がおられたら、3月の市町村対抗子ども駅伝への参加を呼びかけています。
子ども駅伝に参加される方に対しては、12月頃から2月までの約3か月練習をします。
- ・委 員：子ども駅伝の練習の予算や保険等の安全対策はどのようになっていますか。
- ・事務局：町の予算で保険を掛けています。
総合型地域スポーツクラブの方にボランティアで教えてもらっているので、保険代以外の支出はありません。昨年度からユニフォームの代わりにTシャツを提供しているので、その予算は含まれています。
- ・委 員：子ども駅伝大会で数年前に河合町が優勝しました。練習の成果がありますし、そのことによって河合町の存在が県民や奈良テレビをご覧になっている方に知っていただく良い機会だと思います。3～5年以内の成績を教えてください。また、もっと強くするために何か考えがあればあわせて教えてくさだい。
- ・事務局：令和4年度は総合8位で、町の部は3位でした。令和5年度は総合4位で、町の部では優勝しました。令和6年度は総合13位で、町の部は5位でした。北葛各町の成績が良いので、ライバル意識もあり優勝を目指して頑張って練習しています。最近は駅伝に参加する子どもが集まりにくい状態ですが、小学校にも協力していただき参加してもらえるようにしたいと思っています。
- ・委 員：シーズン前の練習だけでなく年間を通じて練習回数を増やすことはできますか。
- ・事務局：町内のランニングクラブからも参加しており、その子たちは小さい頃から何年も練習しています。もう少し長い期間練習が出来ればと思っています。子どもランニング教室をきっかけとして走る楽しさを感じてもらいたいと思います。

○事務局からの案内

- ・事務局：奈良県社会教育研究大会及び奈良県公民館大会合同大会の開催について
奈良県人権教育推進協議会 平和・解放教育講演会について
河合町人権教育推進協議会 人権学習講座について

○閉会